別記様式（第5条第1項関係）

政務活動費収支報告書

令和　8　年　4　月　30　日

津山市議会議長　　殿

津山市議会議員　　津本　辰己 [redacted]

津山市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により，交付を受けた政務活動費について，下記のとおり報告します。

記

1　収　入

政務活動費の総額　　600,000 円

2　支　出

項　　目	支　出　額	備　　考
調査研究費 要請・陳情活動費	57,000 円	出張旅費
研修費 会議費	25,000 円	セミナー受講料
広報費	582,884 円	議会だより作成送付費
広聴費	0 円	
資料作成費	0 円	
資料購入費	0 円	
人件費	0 円	
事務所費	0 円	
合計	664,884 円	

(注)備考欄には，主たる支出の内訳を記載すること。

3　残　余

政務活動費の総額-支出の総額　　0 円

（参考様式１）

（令和　7　年度）

費目別一覧表

費目名　　調査研究費、要請・陳情活動費

年 月 日	支出内容	支出額	備　考
8．1．30	出張旅費	57,000円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
合　　計		57,000円	

※費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号(第３条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和８　年　１　月　30　　日		
費　　目	①　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 3　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	￥57,000 円

支出内容	出張旅費

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

様式第４号(第３条関係)

支　払　証　明　書

金　　額　　５７,０００　　円

(内　訳)

支　　払　　日	令和　８年　１月　３０日
支　払　内　容	出張旅費
支　　払　　先	名称　津本　辰己 住所　津山市二宮１２４７番地
領収書等を徴することができない理由	「津山市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例」に準じ算出した金額であるため

上記のとおり支払ったことを証明します。

令和　８年　１月３０日

津山市議会議員　　津本　辰己　[redacted]

旅費計算書

議員氏名	津本 辰己
出張先(内容)	東京 （人口減少時代の議員定数・議員報酬をどう考えるか 受講）
出張日	令和 8年1月29日～1月30日

日程	行程			交通手段					
月日	乗車地		降車地	鉄道費(JR) 基本	鉄道費(JR) 特急等	私鉄	航空費	バス賃等	モノレール
1月29日	津山	→	岡山						
〃	岡山	→	品川	11,000	7,100				
〃	品川	→	池袋						
1月30日	池袋	→	品川						
〃	品川	→	岡山	11,000	7,100				
〃	岡山	→	津山						
		→							
		→							
		→							
		→							
	小計			22,000	14,200	0	0	0	0

合計(単位:円) 36,200 (A)

車賃 (自家用車)		→			Km				
		→			Km				
	小計			0	Km	×20円 (1Kmあたりの単価)	=	0	円

合計(単位:円) 0 (B)

交通費		(A)＋(B) ＝	36,200 円
宿泊料		14,800 円× 1 日＝	14,800 円
日当	県外	3,000 円× 2 日＝	6,000 円
	県内	1,700 円× 0 日＝	0 円
合計			57,000 円

上記出張における旅費計上額 **57,000 円**

（参考様式２）

8 年 1 月 30 日

出 張 等 報 告 書

津山市議会議員　　津本　辰己

出張日／受講日	令和８年１月 29 日 / 令和８年１月 30 日
種　　別	□調査研究・視察　□要請・陳情　□研修会（オンラインを含む）　□各種会議
出　張　先	東京都豊島区
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	このままでいいのか？あなたのまちの議員定数 議員報酬は高すぎる？～いま考える「適正額」とは～
応対者／講師名	廣瀬　和彦
目　　的	人口減少時代の議員定数・議員報酬をどう考えるか
概　　要	10：00　～12：45 このままでいいのか？あなたのまちの議員定数 13：45　～16：30 議員報酬は高すぎる？～いま考える「適正額」とは～
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	※津山市議会の、今後の課題点 ・議員定数 ☛人口割による定数 ↳現行 3,700 人/1 人　今後 4,000 人/1 人への検討 ↳市域は変わらない　市民の声を反映できる人数は？ ・議員報酬 ☛現行の議員報酬は、20 数年前に設定 ↳議員活動経費・生活給として妥当な額か ↳特別職等報酬審議会の判断を仰ぐ

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

（参考様式１）

（令和　7　年度）

費目別一覧表

費目名　　研修費、会議費

年 月 日	支出内容	支出額	備　考
8．1．30	セミナー受講料	25,000円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
合　　計		25,000円	

※費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号(第３条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和８　年　１　月　30　　日		
費　　目	１　調査研究費、要請・陳情活動費 ②　研修費、会議費 ３　広報費　　４　広聴費 ５　資料作成費　６　資料購入費 ７　人件費　　８　事務所費	金　　額	￥25,000 円

支出内容	セミナー受講料

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書

2025 年 12 月 8 日

津本 辰己 様

金額

￥ 25,000

但 2026 年 1 月 30 日 セミナー受講料として
上記正に受領いたしました

〒112-0011
東京都文京区千石 2-34-6

株式会社 廣瀬行政研究所
登録番号: T2011001095530



（参考様式１）

（令和　7　年度）

費目別一覧表

費目名　　広報費

年 月 日	支出内容	支出額	備　考
7．4．11	3月定例議会だより　発送費	190,058 円	
8．2．2	12月定例議会だより・封筒印刷	87,240 円	
8．4．10	12月定例議会だより　宛名印刷	18,700 円	
8．1．22	12月定例議会だより　発送費	188,961 円	
8．4．14	3月定例議会だより・封筒印刷	79,225 円	
8．4．8	3月定例議会だより　宛名印刷	18,700 円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
．　．		円	
合　　計		582,884 円	

※費目ごとに各支出伝票を整理し、その表紙としてご活用ください。

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和７　年　４　月 11　日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	￥190,058 円

支出内容	３月定例会議会だより発送費 支払先：日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町 2-3-1 （津山郵便局：1,809 通）・成名郵便局：463 通）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

領収書

津本辰己 様

［別納引受］
区内特別特特(定)BC 14.0g
@81 1,806通 ¥146,286

小 計 ¥146,286

第一種定形 14.0g
@110 3通 ¥330

小 計 ¥330

郵便物引受合計通数 1,809通
課税計(10%) ¥146,616
(内消費税等(10%) ¥13,328)
非課税計 ¥0

合計 ¥146,616
お預り金額 ¥150,621
おつり ¥4,005

印紙税申告納
付につき麹町
税務署承認済

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号 T1010001112577
取扱日時：2025年 4月11日 11:01
発行No. 250411A8240 端N75箱02
連絡先：津山郵便局
TEL:0570-943-432

領収書

津本辰己 様

［別納引受］
第一種定形 13.5g
@110 47通 ¥5,170

小 計 ¥5,170

区内特別特(定)BC 14.0g
@92 416通 ¥38,272

小 計 ¥38,272

郵便物引受合計通数 463通
課税計(10%) ¥43,442
(内消費税等(10%) ¥3,949)
非課税計 ¥0

合計 ¥43,442
お預り金額 ¥44,002
おつり ¥560

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号 T1010001112577
取扱日時：2025年 4月11日 11:33
発行No. 250411A4221 端N24箱01
連絡先：成名郵便局
TEL:0868-29-1500

温故知新「市民の想いを形へ」



激寒期を過ぎ、桜の開花情報が気になるところでありますが、皆様には、健康に充分留意していただきたいと思います。

現在の物価高騰による生活不安が拡がっている中で、議会としても市民福祉の増大にしっかり取り組み、きめの細かい福祉の増大に結びつけるべく、取り組んで参ります。

津本たつみ
三月議会だより
令和七年三月発行　第六十一号
発行責任者　津本　たつみ

●令和6年度最後の、3月定例会は、2月25日開会、3月18日閉会の22日間の日程で、執行されました。

●令和７年度当初予算は既存事業の目的や実績、効果を効率性・有効性の観点から検証し、個別事業の見直し・改善はもとより、事業の重点化や統廃合を検討するとともに、公民連携、民間活力の導入検討などを踏まえ編成する基本方針が示され、

●対前年度36.7億円増の531億4百万円の当初予算が提示され、それに対応する事業予算は、全て可決され、一般会計・特別会計・財産区会計・企業会計の総額は、対前年度40億4千万円増の904億8千4百万円でのスタートとなります。

質問要旨（抜粋）

1.歴史文化財等を地域活性化に結びつける

(1)文化財施策について、

①文化財保存の基礎事業であります

質問：劣化した文化財説明板の補修について、来年度予算及び事業計画は？

答弁：文化財の説明板については、職員による定期的な現地調査や、住民からの、情報提供を基に現状を把握し、総合的に判断して適宜修理を進めておりますが、令和7年度は、約20万円を計上しております。

再質：この20万円で補修修理が実施できる、範囲・箇所数は？

再答：まず、確実に1箇所の補修を行った後、予算残額等を踏まえ適宜必要な対応をしていく予定です。

※職員による定期的な現地調査によって、補修の必要な個所は、把握できていると思うが、文化財の保存活用の基礎事業部分に、全く予算がついていない実態が解りました。

※観光文化部長として、この現実を直視し、改めて、基礎部分にしっかり対応することが、地域との連携につながる部分であります。「修理の必要な個所数に対し、年1か所で何年かかるのか」答弁内容から、文化財保存に対する、意識の低さが露わになった。是非とも、意識改革をお願いしておきます。

質問：文化財の説明板の補修と同時に、文化財周辺の草刈り・樹木の選定等の環境整備に対応するため、文化財地域支援団体を育成し、その任にあたることが、将来に向け、安定的な文化財の保存に資すると、思うが、来年度、地域支援団体の育成に、どう取り組むのか？

答弁：文化財の安定的な保存のためには多角的な視点からの取組が必要であると認識しております。今後の状況や地域の皆様からのご意見を踏まえ、地域支援団体への業務委託も選択肢の一つとして検討してまいります。

※文化財を活用した地域活性化は、度々申し上げるが、行政だけでは完結しない。地域と行政との協働で完結するのが、文化財保存活用事業であります。その中核を担う、地域支援団体の育成拡大に確り取り組んでいただきたい。

②現在活動している、地域支援団体への「経済的支援」について

質問：今後どう対応していくの？

答弁：令和7年度に見直す「文化財保存活用地域計画」において、地域支援団体を「文化財保存支援団体」として、正式に指定する手順を整備し、具体的な支援方法についても、検討してまいります。

再質：文化財保存支援団体に指定された場合、どのような、経済的支援が、考えられるのか？

再答：具体的な支援策は、第2期、文化財保存活用地域計画を策定する中で、検討してまいります。

※地域支援団体の運営が、円滑に行えるような、制度設計をよろしく、お願いしておきます。

③次に、地域活性化に取り組んでいる地域にとって、津山百景にも選出されている、津山グンゼ本館の、解体撤去が伝えられているが、

質問：津山グンゼの方針は、また、津山グンゼ本館の、保存についての支援策を、どう考えているのか？

答弁：今春取り壊し、リニューアルをする予定のことであり、本市としては、貴重な建物の歴史的価値や現状を後世に伝えるために、測量図面や写真などを用いて記録保存することを考えています。

※津山グンゼ本館の貴重な建物の設計図等の、資料だけでも、後世に残していただきたい。また、地域として、文化財の保存活用に取り組んでいる者にとって落胆は大きいと思います。

※地域は、行政の良き伴走者として、また、行政は、地域の良き伴走者となる、この関係を確り守っていただきたい。

2.地域産業の活性化を支える人材育成機関としての「公立大学設置」について、

④この問題に対して、2月17日、谷口市長は、美作大学の公立化の検討を、前向きに進めるとの考えを示し、有識者会議を開き、実現可能性と有効性を、検証するとしているが、有識者会議に諮る前に、

質問：市がこれまでに検討してきた、経費面等の大学運営スケジュール、どの分野の人材育成が必要なのか等、市独自の検討結果は？

答弁：収支見通しや、地域における大学の役割などについて検討を行ってきたところですが、大学からの回答内容も踏まえ、今後、有識者会議などで、専門的かつ客観的な見地から検証・評価を頂き、まとまった段階で結果をお示しする。

質問：公立大学設置を考えた場合、「津山圏域5町」と、歩調を合わせることも必要と思うが、医療福祉や生産・加工現場等の、必要な人材育成・確保についての、意見交換は、なされているのか？

答弁：公立大学設置を目的としたものではないが、これまでにも、美作大学と本市を含む美作地域の自治体では、大学が育成している専門人材の現状や、地域人材の育成確保、大学との連係による

小中高生へのキャリア教育の充実などについて意見交換を行っている。

質問：公立大学は地域のニーズに沿った設置が絶対条件であると思うが、特に、女性が安定して働ける場の確保、それに対応できる「人材育成機関」としての、公立大学でなければならないと思うが？

答弁：地域での暮らしを支える人材の育成や、女性・若者の地元定着の視点は、非常に重要であると、認識しております。

※公立大学設置の入り口論として、まず、美作大学の公立化ではなく、地域に残って生活したい18歳に対し、仕事もある、それに対応できる能力も習得でき、また、都市機能としての「公立大学」設置へと、進んでいただきたい。

3.農林業施策について、

⑤津山市の農林業を取り巻く現状は、農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加、また、日本全体では、ＴＰＰ（環太平洋パートナシップ）による、農林水産物2，594品目のうち2，135品目にのぼる「関税撤廃」による国際競争激化にも対応しなければなりませんが、

質問：本市の、令和7年度の農林業「重点施策」は？

答弁：農林業を取り巻く環境は、気候変動や資材価格の高止まり、担い手の減少など、厳しい状況にあり、農業分野では、米の販売価格は上昇したものの、農業者や農地面積の減少が課題となっており、より効率的な農業の推進が求められている。林業分野では、利用期を迎えた森林を有効活用するだけでなく、地球温暖化対策や、林地災害の防止などの、公益的機能や施業の集約化を推進するため、森林経営管理制度による、意向調査を優先的に進め、また、林業や木材産業などの地域経済の活性化も必要であると考えられるため、地域材の積極的な利用を促進します。本市としては、ブドウの産地化・つやま和牛・小麦のブランド化の推進による販路拡大、デジタルを活用した新たな農業ビジネスモデルの構築に努め、これらの取組を積み重ねていくことで、持続可能な強い農林業の構築をすすめてまいります。

再質：スマート農業への取組状況は？

再答：これまでに、国の補助事業を活用し、ラジコン草刈り機やドローン等の導入支援を行ってきた経緯があり、引き続き、スマート農業の推進に取り組んでいきます。

再質：効率的な農業の推進には、農地や経営の大規模化などが、あげられるが、その状況は？

再答：大規模化については、農地中間管理機構を通じ、貸借などにより進めているが、今後は、津山市農地バンク制度の活用や本年度末に策定する「地域計画」に基づき、集積・集約化を、図ってまいります。

再質：農産物のブランド化の状況は？

再答：つやま和牛については、本年度、学校給食での使用や各種メデイアにも取り上げられています。津山産小麦については、パンフエスタの開催やコンビニで試験販売されています。いずれも、取扱店舗が拡大しており、ブランド化に向け、着実に前進していると認識しています。

再質：持続可能な農業の推進状況は？

再答：新たな担い手の育成や確保に繋がる、新規就農者等を含む農業に取り組みやすい環境づくりを基点とし、認定農業者などを対象とした、農業機械等の導入支援や津山市農地バンク制度により、効率的に農地を活用しつつ、生産基盤の強化を図るとともに、ブランド化を踏まえた農業ビジネスモデルノ構築を目指すことなどで、持続可能な農業を推し進めている。

⑥次に、市内中心部でも耕作放棄地が拡大している中で、その耕作放棄地で、野菜・果樹栽培に取り組もうとしている、町内会があるが、町内会で農地を借り受け、運営に当たり、非農家を交えた町内構成員での

質問：対応は、可能であるか？

答弁：本市では、農家と非農家で組織された協議会が野菜などの作業受委託をしている事例もあります。町内会で農地を借り受ける場合は、法人格の取得など一定の要件があります。

●農作業に参入する場合、法人格の取得など一定の条件がいるとは、

再質：町内会が認可・地縁団体であれば、良いということか？

再答：認可地縁団体であれば、農地中間管理機構との賃貸借契約を締結することが可能となりますが、当該団体の規約等に、農業に関することを定めるなど一定の整理も必要となります。

再質：町内会等で実施する場合でも、栽培作目によっては、「産地交付金」の対象となるのか？

再答：大豆枝豆やブロッコリー等の本市の振興作物を出荷することで産地交付金の対象となります。

※市内中心部での耕作放棄による、地域環境整備の新たな取り組みとして、期待しておきます。農林部としても、積極的に動いていただきたい。

⑦次に、中山間地域活性化に向け、農業系大学との、地域包括連携の主眼は、中山間地域の安定を、どう展開するのかだと、私は思うが、

質問：儲かる農業を推進する地域と、里山を守る地域とは、おのずと視点を変えた、施策の方向性を考える必要があり、その実現を目指す「地域包括連携」でなければならないと思うが？

答弁：農業は、米や野菜の生産など、食を支える重要な産業であると同時に、環境保全や災害防止等の多面的機能を有していることから、地域包括連携にあたっては、こうした側面を踏まえ、総合的な枠組みの整理が必要であると考えております。

再質：総合的な枠組みの整理が出来た場合、農業系大学との、「地域包括連携」協議をされるのか？

再答：協議に当たっては、地域農業における研究テーマの精査や、担当教職員の配置、費用負担等の課題があるとの示唆をうけています。これらの課題の整理お行いながら、可能性を探っていきたい。

※連携に当たって、中山間地域・里山地域の安定が、中心市街地の安定に、繋がる「連携協定」になるよう、お願いしておきます。

●営農組合の育成支援について、

※中山間地域の活性化を阻害している、耕作放棄地の拡大、害獣被害の拡大は、中山間農地の管理が行き届かないのが原因であるが、この現状を食い止めるためには、少なくとも、これらの地域の最後の砦でもある、「営農組合」の「育成支援」が、重要になってくると思うが、

再質：令和7年度、営農組合の、「育成支援」に、どう取り組むのか？

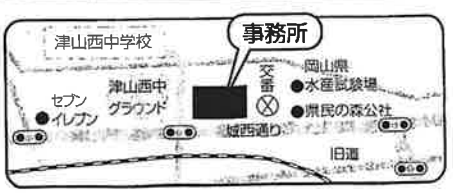
再答：法人化に関する相談体制の強化を図るとともに、国庫補助事業の活用や、農地の集積・集約化に向けた協議を重ねることにより、営農組織の育成支援に取り組む。

※営農組合の育成促進と、さらなる、法人化に向けて取り組んで、いただきますよう要望しておきます。

日常活動について



市政に対する要望、相談について、**西中学校グラウンド東隣りに事務所を開設**しております。気軽にお立ち寄り下さい。
また、日常生活で支障を来たしている問題、政策提言等、お待ちしております。



様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和８　年　２　月　２　日		
費　　目	１　調査研究費、要請・陳情活動費 ２　研修費、会議費 ③　広報費　　４　広聴費 ５　資料作成費　６　資料購入費 ７　人件費　　８　事務所費	金　　額	￥87，240円

支出内容	12月定例会議会だより（3,200部）・封筒（2,258）印刷費 支払先　株式会社　美成 津山市平福177-2

12月

領収証

010399

令和 8 年 2 月 2 日

津山市議会　津本辰己　様

¥ 87,240-

但し／印刷代金・その他（ 議会だより 3,200枚 封筒 2,258枚 ）

上記正に領収いたしました。

消費税（10%対象　　・10%額　　）

□現　金（ ○ ）
□小切手（ ）
□手　形（ ）
□相　殺（ ）
□その他（ ）

BISEI 株式会社 美成 [redacted]
T3260001020596
岡山県津山市平福177−2　〒708−0872
TEL(0868)28-0127　FAX(0868)28-7011

取扱者印 [redacted]

温故知新「市民の想いを形へ」



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた新春を健やかにお迎えのことと、お慶び申し上げます。
これから「厳寒期」をむかえる中で、インフルエンザ等に罹患しないよう、身体には充分、気をつけていただきたいと思います。

津本たつみ
十二月議会だより
令和八年一月発行　第六十二号
発行責任者　津本　たつみ

◎本年は、2月1日告示・2月8日投開票の日程で、今後4年間の「市政運営」のリーダーを決める「市長選挙」があります。

◎前回市長選挙の投票率が47.56%の低投票率でありました。市民の目が行き届き、また、市民の声を反映する「市政運営」を実現するためには、投票率のアップが、絶対条件であろうと思います。投票の棄権が無いよう、また、自分たちの生活向上に繋がる選挙となりますよう、よろしくお願いいたします。

また、市長選挙と同一日程で、市議会議員の欠員選挙（1名）も執行されますので、こちらの投票も、併せてよろしくお願いいたします。

※市長選挙：3人立候補、市議会補欠選挙：3人立候補で、推移している模様であります。

◎12月定例会は、３２議案が上程され、11月25日～12月16日までの22日間で行われ、第4次補正予算として、住民非課税世帯への生活応援給付金や公共工事の施工時期の平準化を図るための事業に加え、扶助費の実績見込みなど、予算措置を必要とする事業について補正が編成され、結果、一般会計予算額は、1億8,796万3千円の増額となり、補正後の予算総額は、562億2,434万4千となりました。

◎現在、国政の中で、地方創生と人口減少対策が、重点課題として挙げられている中で、川の上流部（市の周辺部）が豊かになれば、川下（市の中心部）は、必然的に豊かになるとの、例えがあるように、地方行政・政治においても、国政の地方創生に連動するには、市域の周辺部の活性化・安定が、急務であると思います。

◎市中心部の事業執行（家の玄関を綺麗に整備）に異論を唱えるものではありませんが、行政・市政運営の入り口を、もっと周辺部に軸足を置くべきだと思います。

◎また、合併20年を迎えた現在、人口が≒2万人減少し、歯止めがかかって、いません。この最大の原因は、市周辺部、主に、新市になった地域の大幅な人口減少が、挙げられると思います。まずは、市周辺部の活性化が行政・政治の入り口で、あることを、提言してまいります。

◎私は現在、2度目の議会選出「監査委員」として、「出納室・水道局・下水道課の例月監査、各部抽出監査、工事監査」等の関係から、本会議での発言は控えていますが、各部の予算・事業結果について、監査委員としてチエック・提言・改善を、提言していきたいと思います。

市政の動向について（抜粋）

1. 第6次総合計画（基本構想）について

○R8年度からR17年度までの10年間の行政指針について、

(1) 人口の将来展望

※津山市の人口の長期的な見通しとして、R2年（2020年）99,937人に対し、R17年（2035年）86,000人、R32年（2050年）73,000人と想定し、

※これまでに経験したことのない人口減少時代に備え、出生数の増加や若い世代の定着を図る取り組みに加え、人口規模が減少しても経済成長し、社会を機能させる取り組みを着実に進めることで「持続可能」なまちを目指すとする、基本的な考えが示されました。

(2) 津山市の将来展望として

※2050年を見据えた10年後のまちの姿、将来を展望する視点として、人口減少対策と将来を切り開く人材育成・災害に強く快適な生活ができるまち・県北部の経済活性化と都市機能強化を挙げ、それらの計画に、住民の想い・ニーズを取り込むため、分野別懇談会・つやま未来デザイン会議・地区別懇談会を定期的に実施する方針も示されています。

(3) 将来の都市構造

※中国地方東部の内陸の拠点都市としての施策の展開

2. 美作大学の公立化問題

「津山市の現状と対応」

●学校法人美作学園から、本年1月29日、谷口市長に対し、美作大学の公立化に向けた検討を求める「要望書」が提出され、

※市長は、「要望書」に対し、検討する中で、美作大学は、専門人材の育成・供給に大きな役割を果たし、市民生活や、企業活動の支援、若者による街の活力創出、文化レベルの向上などの都市基盤となっており、その存続は、地域全体の大きな課題であると捉えており、この地域で、大学が存続できるよう、慎重に検討を行っていくとの認識が示されています。

※また、公立化を判断する上では、地域の人材育成や活力創出、経済への影響など「まちづくり」の視点が必要であると考えている。

※また、一般的に、私立大学を公立化する場合、学校法人から自治体へ土地建物等の、財産が、寄付されますが、この際、自治体が負債を継承することはなく、また、自治体が学校法人へ、資金提供することもないため、公立化によって、学校法人の経営が、安定することもなく、公立化の検討は、美作学園の経営安定を、目的にしたものではなく、地域の持続可能性を考慮して行っている。（市長答弁）

「美作大学の社会貢献度」と「課題」

●食と子どもと福祉、美作地域の小中教職員の約20％を占めている。

●管理栄養士等の国家試験合格率、全国トップクラス

●学生と地域の連携、市民税や地方交付税の増収

●在校生の出身地域の偏在化

「市の長期的財政負担見込み額」

●建物修繕・18億円

●建物建て替え・140億円

「有識者検討会議会長」（岡大大学院教育学研究科・西山修氏）の見解

●「地域資源」である大学とどう向き合うか、存続に選択肢は別にあるのか。

●今後のまちづくりの在り方の展望も欠かせない。

※美作大学が公立化されたら、高校生の約20％が「進学先として興味・関心」

※そうした議論を次期市長選も踏まえて冷静に進めてほしい。

「私の提言」

●少子化と若者の都市部流失

※津山市の「年少人口・生産年齢人口・老年人口」を、H26・1・1を起点に、10年後の、R6・1・1で比較すると、年少人口が3,100人減・生産年齢人口が8,200人減・老年人口が210人増であります。（R6・1・1：96,314人）

※人口減少の根源である「生産年齢人口」をこれ以上減らさないためにも、津山市はもとより、圏域で必要な人材は、自前で「確保する機能」を持たなければならないと、思います。

※そのためには、津山市を取り巻く圏域5町（奈義町・勝央町・鏡野町・美咲町・久米南町）との連携を保ちながら、必要な人材の確保につながる、学部学科編成を目指すべきであり、拙速な公立大学の設置は、厳に慎むべきであります。

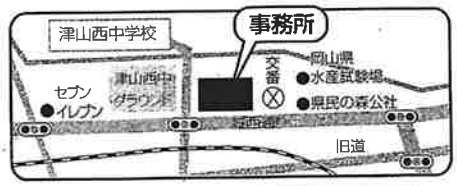
※公立大学を設置するとした場合、単なる美作大学の救済ではなく、建学の精神・理念を明確にすることが、また、持続可能なまちづくりを実現するための投資であもり、公立大学の存在価値を保ち続けるためにも、この要件は「必須要件」であろうと思います。

※地域に「根差し愛される」・「地域にとってかけがえのない存在」である大学の設置となりますよう、市には、確り取り組んで、いただきたい。

日常活動について



市政に対する要望、相談について、**西中学校グラウンド東隣りに事務所を開設**しております。気軽にお立ち寄り下さい。
また、日常生活で支障を来たしている問題、政策提言等、お待ちしております。



区内特別
郵便

事務連絡

市民の心情を市政へ

「温故知新」 津山市議会議員

津本（つもと）たつみ





様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和　8　年　4　月　10　日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	￥18，700円

支出内容	12月定例会議会だより・宛名印刷（2，258）
	支払先　株式会社　アサンテ
	津山市小原78-1

領収証　市議会議員　津坂辰己　様　No.

金額			¥	1	8	7	0	0	-

内訳
現金
小切手　／
手形　／
消費税額等（　%）
消費税額等（　%）

但　印刷代として

8年　4月　10日　上記正に領収いたしました

株式会社　アサンテ
代表取締役　秋濵孝司
岡山県津山市小原78－1
TEL 0868-31-2727　FAX 0868-31-2728
登録番号　T5260001021015

収入印紙

GR1620

R7. 12月定例会

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和８　年　１　月 22　日		
費　　目	１　調査研究費、要請・陳情活動費 ２　研修費、会議費 ③　広報費　　４　広聴費 ５　資料作成費　６　資料購入費 ７　人件費　　８　事務所費	金　　額	￥188，961円

支出内容	12月定例会議会だより発送費 支払先　日本郵便株式会社 東京都千代田区大手町2-3-1 （津山郵便局：1,800通）・成名郵便局：459通）

領収書等貼付欄(支払証明書等は裏に添付のこと。)

12月

領収書

津本辰己 様

［別納引受］
区内特別特特(定)BC
@81 1,797通 ¥145,557

小 計 ¥145,557

第一種定形
@110 3通 ¥330

小 計 ¥330

郵便物引受合計通数 1,800通
課税計(10%) ¥145,887
(内消費税等(10%) ¥13,262)
非課税計 ¥0

合計 ¥145,887
お預り金額 ¥150,000
おつり ¥4,113

印紙税申告納
付につき麹町
税務署承認済

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号 T1010001112577
取扱日時：2026年 1月22日 10:32
発行No. 260122A7265 端N75箱02
連絡先：津山郵便局
TEL:0570-943-432

12月

領収書

津本辰乙 様

［別納引受］
区内特別特(定)BC 14.0g
@92 412通 ¥37,904

小 計 ¥37,904

第一種定形 14.0g
@110 47通 ¥5,170

小 計 ¥5,170

郵便物引受合計通数 459通
課税計(10%) ¥43,074
(内消費税等(10%) ¥3,915)
非課税計 ¥0

合計 ¥43,074
お預り金額 ¥43,105
おつり ¥31

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号 T1010001112577
取扱日時：2026年 1月22日 11:17
発行No. 260122A8955 端N24箱01
連絡先：成名郵便局
TEL:0868-29-1500

様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支　出　日	令和８　年　４　月　14　日		
費　　目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金　　額	￥79，225円

支出内容	３月定例会議会だより（3,200部）・封筒（2,237）印刷費 支払先　株式会社　美成 津山市平福177-2

領収証

010139

令和 8 年 4 月 14 日

津山市議会 津本辰己 様

¥79,225-

但し／印刷代金・その他（ 議会だより 3,200枚 / 封筒 2,237枚 ）

上記正に領収いたしました。

消費税（10%対象 72,023 ・10%額 7,202 ）

□現　金（ 0 ）
□小切手（ ）
□手　形（ ）
□相　殺（ ）
□その他（ ）



BISEI 株式会社 美成 [redacted]
T3260001020596
岡山県津山市平福177−2　〒708−0872
TEL(0868)28-0127　FAX(0868)28-7011

取扱者印 [redacted]

温故知新「市民の想いを形へ」



激寒期を過ぎ、スギ花粉・桜の開花情報が気になるところでありますが、皆様には、健康に充分留意していただきたいと思います。

津本たつみ
三月議会だより
令和八年四月発行　第六十三号
発行責任者　津本　たつみ

◎2月8日投開票の結果、選挙前の予想を覆して、４０歳の「光井　聡」氏が、当選され、今後4年間の「市政運営」のリーダーとなりました。

◎前回市長選挙の投票率が47.56%の低投票率でありましたが、衆議院選挙・市議会補欠選挙の相乗効果で、前回より11%増の58%代に投票率が向上しましたが、投票率アップのこの流れをさらに拡大することが、市民の利益の向上、市勢の拡大に繋がる、第一要因であると思います。

◎市民の声を代表する「市長・議員選挙」は、少なくとも60%以上の声を反映した選挙でなければ、その結果として、民意を反映した行政運営に、なり得ないのではないでしょうか？

◎市政に無関心な人も、関心のある人も結果的に、よくも悪くとも市政の影響を受けるのは市民であります。今後共の投票率アップにご協力お願いいたします。

◎3月定例会は、2月24日～3月17日までの23日間で行われ、市長選挙実施に伴い、R8年度予算は、継続事業を中心に「骨格予算」が編成され、新たな政策判断を要する事業予算については、6月補正予算で対応することになっています。

◎結果、R8年度一般会計は、R7年度予算対比、3.3%（17億4200万円）減の、513億6200万円が、特別会計・225億2千9百万円、財産区会計・3千498万円、企業会計・148億3千9百万円、総計・887億6千6百万円が提案されました。

◎また、新市長の事務事業に取り組む考えの「所信表明」は、6月定例会に行われます。新市長の「市政の目指す」方向、それを実現するための各部の役割が確りと示される「所信表明」を期待しておきます。

市政の動向について（抜粋）

1. 美作大学公立化について

○谷口圭三前市長は、年度内に「公立化」についての判断を出すとしていたが、これまで行われた「有識者会議」や市議会の動きを踏まえ、存続に向けた諸課題を整理する必要があり、

¶光井　聡市長は、年度内の方向性提示は、困難との考えを、示しました。

※しかし、少子化による学生数の減少により、私学経営が成り立たないとする現状から、公立化を要望するのは無理があると思います。

「設立理念」がどこかへ打ち捨てられ、軽々に私学経営を「公立大学」として、引き受けることは、市民利益に反することであります。

「前執行部の考え」

¶美作大学は、専門人材の育成・供給に大きな役割を果たし、市民生活や、企業活動の支援、若者による街の活力創出、文化レベルの向上などの都市基盤となっており、その存続は、地域全体の大きな課題であると捉えており、この地域で、大学が存続できるよう、慎重に検討を行っていくとの認識が示されています。

¶また、公立化を判断する上では、地域の人材育成や活力創出、経済への影響など「まちづくり」の視点が必要であると考えている。

¶公立化を判断する上では、地域の人材育成や活力創出、経済への影響など「まちづくり」の視点が、必要であると考えている。

「私の提言」

●少子化と若者の都市部流失

※津山市の「年少人口・生産年齢人口・老年人口」を、H26・1・1を起点に、10年後のR6・1・1で比較すると、年少人口が3,100人減・生産年齢人口が8,200人減・老年人口が210人増であります。（R6・1・1：96,314人）

※人口減少の根源である「生産年齢人口」をこれ以上減らさないためにも、津山市はもとより、圏域で必要な人材は、自前で「確保する機能」を持たなければならないと、思います。

※そのためには、津山市を取り巻く圏域5町（奈義町・勝央町・鏡野町・美咲町・久米南町）との連携を保ちながら、必要な人材の確保につながる、学部学科編成を目指すべきであり、拙速な公立大学の設置は、厳に慎むべきであります。

※公立大学を設置するとした場合、単なる美作大学の救済ではなく、建学の精神・理念を明確にすることが、また、持続可能なまちづくりを実現するための投資でもあり、公立大学の存在価値を保ち続けるためにも、この要件は「必須要件」であろうと思います。

※私は、公立大学の設置は、津山圏域・産業界にとっても、常に必要であるとの立場で発言をしています。

地域に「根差し愛される」・「地域にとってかけがえのない存在」である大学の設置となりますよう、市には、確り取り組んで、いただきたい。

※美作大学が公立化されたら、高校生の約20％が「進学先として興味・関心」がある との「アンケート結果」が出ています。

「美作大学の社会貢献度」と公立化に向けた「課題」？

●食と子どもと福祉、美作地域の小中教職員の約20％を占めている。

●管理栄養士等の国家試験合格率、全国トップクラス

●学生と地域の連携、市民税や地方交付税の増収

●在校生の出身地域の偏在化（沖縄県・高知県等）

「市の長期的財政負担見込み額・将来負担」

●建物修繕・18億円

●建物建て替え・140億円

「有識者検討会議会長」の見解

●「地域資源」である大学とどう向き合うか、存続に選択肢は別にあるのか。

●今後のまちづくりの在り方の展望も欠かせない。

「光井　聡」市長の考え

¶年度内の、公立化に向けての方向性提示は、困難である。

¶地域が必要とする人材育成と、それによって地域の強みが、さらに高められるかが重要。

¶大学運営に要するコストを上回る効果を得続けられるか？

広域的な視点で、検討していく。

※コストに要する効果の検証は大事でもありますが、必要経費としてどこまで負担できるのかも「大切な視点」でもあろうと思います。

2. 旧津山地域における「交通空白地」の解消について

「運転手不足」対応

●バス路線の再編やデマンド交通の導入に係る運行計画の策定業務を委託し、

●実現性が高いバス路線については、実証運行を実施。

「利用者数」の推移

●2025年4月から2026年3月の利用実績・5,663人。

●本年度は、年間6,000人を目標。

3. アルネの「再生」について

※現状、年間3億円の公費が投入されています。

「光井市長の考え」

●市民や次世代を担う子供たちの、笑顔あふれる施設へと再生させるよう、取り組む。

●6月議会で基本的な方向性について、説明できる準備を進める。

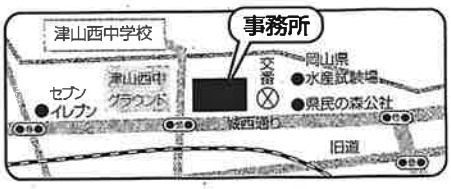
※アルネの全床が稼働されていない現状の中、新たな、中心市街地整備事業計画が実施？されるとすれば、今度こそ財政破綻に繋がる悪夢の事業になるのでは？

※市の活性化を促すため、「人・物・金」の行き交う導線を描くため、いま必要なのは、中心市街地を取り巻く周辺部（川の上流部）の安定化事業を優先し、中心市街地（川の下流部）の活性化を図る、行政目線の変換が必要であります。今後とも強く訴えていきます。

日常活動について



市政に対する要望、相談について、**西中学校グラウンド東隣りに事務所を開設**しております。気軽にお立ち寄り下さい。
また、日常生活で支障を来たしている問題、政策提言等、お待ちしております。



区内特別
郵便

事務連絡

市民の心情を市政へ

「温故知新」 津山市議会議員

津本（つもと）たつみ





様式第３号(第４条関係)

支　出　伝　票

支出日	令和　8　年　4　月　8　日		
費目	1　調査研究費、要請・陳情活動費 2　研修費、会議費 ③　広報費　　4　広聴費 5　資料作成費　6　資料購入費 7　人件費　　8　事務所費	金額	￥18，700円

支出内容	3月定例会議会だより・宛名印刷（2，237）
	支払先　株式会社　アサンテ
	津山市小原78-1



領収証　市議会議員　津本辰己　様　No.

金額　¥18,700-

内訳
現金
小切手　／
手形　／
消費税額等（　%）
消費税額等（　%）

但　印刷代として
8年4月8日　上記正に領収いたしました
株式会社　アサンテ
代表取締役　秋濵孝司
岡山県津山市小原78－1
TEL0868-31-2727　FAX0868-31-2728
登録番号　T5260001021015

収入印紙

GR1620